



物理学
准教授
むら ちゆう し
室 裕 司
(1972生)
理学博士
(東京大学・平13)

■経 歴

東京大学工学部材料学科卒 (平 7.3) / 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修士課程修了 (平 9.3) / 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了 (平 13.1) / 日本学術振興会特別研究員 (平 13.8 ~ 16.3) / 東京理科大学理工学部物理学科助手 (平 16.4 ~ 21.3) / 広島大学大学院先端物質科学研究科研究員 (平 21.4 ~ 平 21.7) / 広島大学大学院先端物質科学研究科特任准教授 (平 21.8 ~ 平 23.3) 富山県立大学工学部准教授 (平 23.4 ~)

担当科目 物理学 I・II / 教養ゼミ I・II / 数学物理学演習 I・II / 物理実験 / ナノ固体電子論 (大学院)

専門分野 固体物理 / 磁性 / 低温物性

論文・報告 「CeTX₃ (T=Rh Ir; X=Si Ge) における近藤効果と結晶場に関する研究」(学位論文、東京大学、2001)
“Magnetic and transport Properties of CeTSb₂ (T=NiCuPd and Ag)” J. Alloys Comp. (1997).
“Contrasting Kondo-lattice behavior in CeTSi₃ and CeTGe₃ (T=Rh and Ir)” J. Phys. Soc. Japan (1998).
“Heavy-fermion weak-ferromagnet YbRhSb”, Phys. Rev. B (2004).
“Structure Modification and Metamagnetic Anomaly in the Ordered State of CeOs₂Al₁₀” Phys. Rev. B (2010).

所属学会 日本物理学会 (平 8.3 ~) / 米国物理学会 (平 24 ~)

■現在の研究課題

希土類金属間化合物の新物質開発と物性研究を行っている。希土類を含む三元化合物を中心に層状構造カゴ状構造などの結晶学的特徴をもつ物質を合成および単結晶育成を行い磁化率・比熱・電気抵抗等の物性測定を通して新物質の磁氣的熱的物性の解明を目指す。希土類化合物の多彩な物性の中で特に以下のテーマを研究している。

1. セリウムおよびイッテルビウム化合物における重い電子形成と超伝導等の発現機構解明
2. カゴ状希土類化合物の開発を通じた強相関熱電物質の探索
3. 希土類含有準結晶の磁性解明

■共同研究キーワード

希土類化合物 / 物質開発 / 低温物性測定 / 重い電子系 / 熱電変換物質 / 準結晶